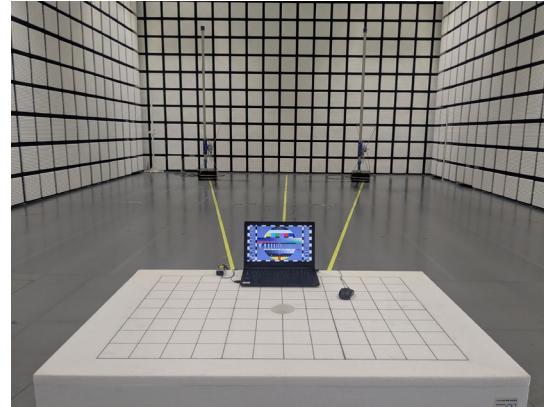


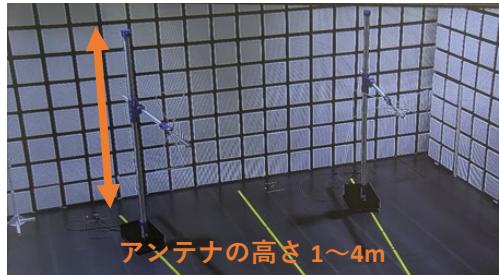
「エミッション測定システム」の測定例

放射エミッション測定は、供試体(電気機器等)から発生する電波ノイズを測定し、許容値内に収まっているかを調べます。その流れについて説明します。

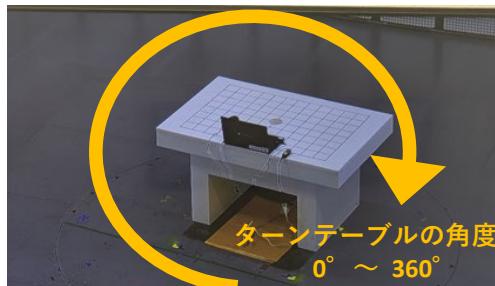


①供試体の設置

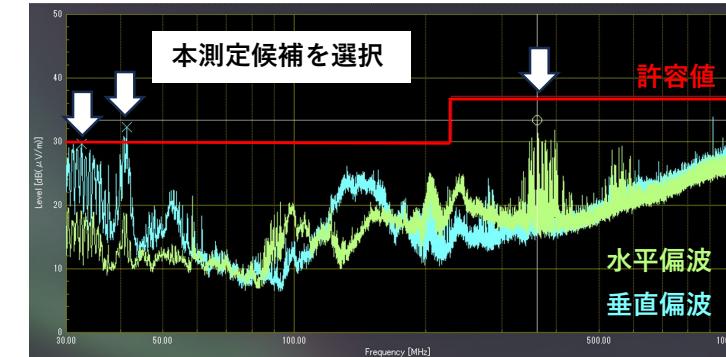
規格に基づいて供試体を配置



アンテナの高さ 1~4m



ターンテーブルの角度
0° ~ 360°

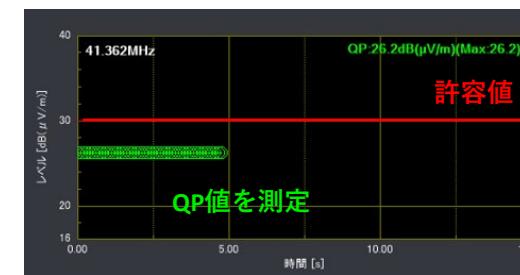


②予備測定

周波数全体を測定してPeak値を記録

③本測定候補の選択

予備測定結果から、規格で定められた許容値を超えていたり、許容値との差が小さい周波数をピックアップ

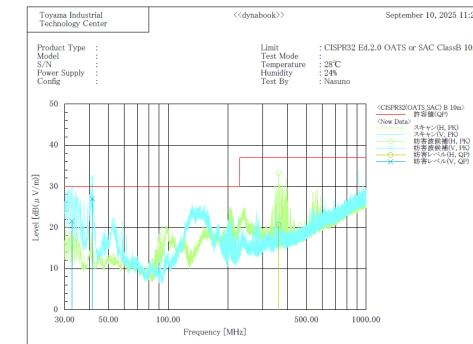


④本測定

ピックアップした周波数を一つずつ
アンテナの高さとターンテーブルの角度
を変え、電波ノイズが最も大きくなる位置を探索して本測定(QP値)を実施



⑤レポートを作成



No.	Horizontal Polarization	c.f.	Reading	Limit	Margin	Height	Angle	Pass/Fail
1	41.362	41.49	41.49	26.2	15.2	1.4	130.0	Pass
2	Vertical Polarization	c.f.	Reading	Limit	Margin	Height	Angle	Pass/Fail
1	41.362	41.49	41.49	26.2	15.2	3.0	180.0	Pass

使用装置：エミッション測定システム（株）東陽テクニカ製）、10メートル法電波暗室（TDK-EPC（株）